

2017年度岡崎別院報恩講のご案内

本年度も当院の報恩講が近づいてまいりました。

下記の日程にて厳修いたします。ご多用のおりとは存じますが、万障お繰り合わせの上、何とぞご参勤・ご参詣いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

日時 10月23日（月）
午前10時～

信悟院殿御参修

楽有 岡崎別院雅楽会

講師 真城 義麿 師

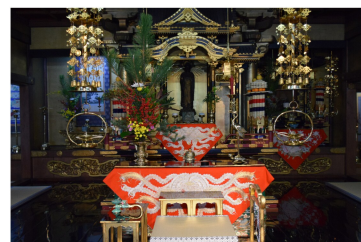
（元大谷中高等学校長、真宗大谷学園専務理事）

講題 「釈尊の目覚めと親鸞聖人の目覚め」



第33号
平成29年
（2017年）
10月・11月
・12月号
発行：編集
岡崎別院
輪番 福田 大

※お持ち帰りいただけるお斎をご用意いたします。準備の都合上、10月19日（木）までに返信用はがき、または電話・FAX・メールでご連絡いただきますようお願い申し上げます。



昨年度報恩講の様子

〈十月十二月の法座案内〉

宗祖を訪ねて

○十月三日（火）十四時～

○十一月三日（金）十四時～

輪番

味読正信偈

○十月十三日（金）九時半～

○十一月十三日（月）九時半～

○十二月十三日（水）九時半～

輪番

歎異抄を読む

○十二月三日（日）十四時～

列座

報恩講

○十月二十三日（月）九時半～

真宗大谷学園専務理事 真城義麿 師

本山報恩講参詣

○十一月二十三日（木）九時半～

列座随参

お煤払い

○十二月二十三日（土）十三時～

*終了後、忘年会

歳暮勤行

○十二月三十一日（日）十五時～

〈結婚式〉

二〇一七年
六月十七日挙式

田鎖 学 さん
久美子さん

二〇一七年
九月五日挙式

上坂 将平さん
希さん

二〇一七年
九月九日挙式

鷺尾 昂祐さん
安那さん

結婚式予約状況

二〇一七年

☆十月十五日
☆十二月二日
二〇一八年
菅井・細井家
某家

☆三月十七日
☆八月二十六日
浅田・松澤家
某家

※詳細はホームページをご覧ください
http://okazakibetsuin.com/
「結婚式予約状況」から
最新の予約状況をご確認頂けます。

〈羽座のつづき〉

お盆の暑さも数日しか感じないままに、八月が終った気がしております。終わったと思えば今度は秋季彼岸会、その後は報恩講が待ち構えています。私は、今年で二回目の報恩講となります。チラシ、ポスターから各種書類の作成等、去年は「来年になれば慣れてくるから」と思いうがらやつていきましたが、いざ諸々の準備に入ろうとすると「去年どうしていたかな」と思うことばかりです。夏が終われば「暑かった」とだけ思い、すぐに暑さを忘れるように、報恩講が終われば、「忙しかった」ということだけ覚えておれば、ほとんど忘れておりました。撮影した写真や記録を見直して「そういう覚えがします」と改めて覚え直しているような気がいたします。覚えておかないと、思っても本当に忘れずにいられることのないことか。また来年も「あれ、どうしていたかな」となっている自分だけがあり、どうしていたかな」となっている厄介な頭の造りをしております。

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）

岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

電話・FAX 075-771-2921

http://okazakibetsuin.com

info@okazakibetsuin.com



作法撮影の様子



拝読作法の再現

八月二十九日別院本堂にて東本願寺出版部企画の御文拝読に関する稽古本作成に関わる写真撮影が行われた。
午前中より本堂内にて本山堂衆をモデルとして所作法に関する撮影が行われた。

御文稽古本内写真撮影

東本願寺出版部

動画サイトのアドレスや撮影内容については左記アドレスにてご確認ください。
<http://jodo-shinsu.info/2017/08/07/10309/>

はちす会・しんらん交流館 仏花作成動画撮影

去る六月二十日・二十一日の両日にかけて、企画・制作しんらん交流館にて、別院本堂を会場としている仏花学習会「はちす会」にご協力いただき、仏花の立て方動画の撮影が行われた。

はちす会にもご指導いただいた「ちの華」の講師の先生方の指導の元、「立体感のある仏花」の立て方を撮影した。

動画サイトのアドレスや撮影内容については左記アドレスにてご確認ください。
<http://jodo-shinsu.info/2017/08/07/10309/>

盂蘭盆会

八月十三日、当院で盂蘭盆会法要が厳修された。京極眞了師より「付度」の講題でお話いただいた。約三十名が参詣した。法話後は書院にて講師・参詣者を含めて雑炊の集いが開かれた。



京極 眞了 師



法話を聞く参詣者

山城第一組 山城第二組 山城組仏青

十月十六日に報恩講前の清掃奉仕が行われます。山城第一組、第二組、並びに仏青の皆様にはお忙しい中ですが、多数のご参加をお願い申し上げます。
*終了後BBQ予定です。



昨年の境内清掃

終了後のバーベキュー
(写真は昨年のもの)

清掃奉仕

岡崎別院おみがき



おみがき

七月二十二日、暁天講座に向けて仏具のおみがきが行われた。別院御門徒、三日講員など十五名にご参加いただいた。
終了後、書院にてお内仏のお給仕、莊厳に関する解説が行われ、その後、手作りカレーを全員でいただいた。

TerGスクール開催



夏休み宿題教室

七月二十五日、二十日の両日、別院書院にてNPO法人寺子屋プロジェクト主催による「TerG aschool」が開催された。今回は小学生約二十名が夏休みの宿題を皆で片付けようという目的で、スタッフの指導・協力の元各自がそれぞれの宿題に取り組んだ。
あわせて七月三十日には夏休みワークシートが配布された。教室とプラマゼンタの約二十名の子供たちと保護者が集まり、各々が自由な発想で様々なジオラマを作った。



完成品サンプル

七月二十五日、二十日の両日、別院書院にてNPO法人寺子屋プロジェクト主催による「TerG aschool」が開催された。今回は小学生約二十名が夏休みの宿題を皆で片付けようという目的で、スタッフの指導・協力の元各自がそれぞれの宿題に取り組んだ。
あわせて七月三十日には夏休みワークシートが配布された。教室とプラマゼンタの約二十名の子供たちと保護者が集まり、各々が自由な発想で様々なジオラマを作った。

世の中が便利になって、一番困っているのが実は人間なんです。

浅田 正作 師

今、新聞紙上を賑わせているのは、隣国のミサイルに領空を脅かされ右往左往している政治家と、不安に怯える我々国民の現状である。この原因は、長い歴史に積み上げられてきた諸問題もあるだろう。しかしその根本は、やはり人と人との対話が極めて少ないことのように思われてならない。

言葉を交わすということは、人と人が顔を合わせ、表情を見、何を願っているのかを確認するということである。

我がことばかりを先行すれば、相手の表情が見えず、相手の言葉も聞こえてこない。このことは、私自身の生活を顧みれば自明の事実である。それは、自分の都合と思ひ込みで相手を押し測り、自分の思いに自分が沈んでいる有様であろう。

現代はITの普及により、相手の顔の见えない、人の感情が感じられない状況の中で諸事に対処することが多くなってきている。早くて正確に確実にと、効率の良さを追求するあまり、人が人に出遇えず、造った思いに自分が沈んでいるのがその根本にあるように思う。

仏は、便利になって困っている私を凡夫と言い当て、私の生きるこの世界を穢土と教えられている。この現状にあつては、言葉を尽くすことが、凡夫として生きる私にとっては一番必要なことなのではなからうか。

今こそ、混迷多難な時代を生き、仏の御教えから知らされた「愚禿」をわが身の事実として、自らの名告りとされた宗祖に学ぶ大切なときである。また、そのことこそが、一人一人の存在を御同朋・御同行として見出して生きることできる、唯一無二の歩みであると確信させられることである。

二〇一七年度岡崎別院

暁天講座(朝の法話)



誉田 和人 師

七月二十五日から二十七日にかけて当院にて暁天講座(朝の法話)が開催された。蒸し暑い日や雨天の日もあった中、各日も満堂となり、三日間合計での参詣者は約三百名に上った。
受付は山城第二組内住職や別院三日講員の方々にお手伝いいただいた。



藤田 ジャクリーン 師

各回の講師と講題は左記の通り。
二十五日 誉田 和人 師
「呼ばれてみれば」
二十六日 藤田 ジャクリーン 師
「親鸞さまとの出会い」
二十七日 飯山 等 師
「念を法海に流す。」



飯山 等 師



当日の山門



本堂参詣者

講座にあたり、講師・参詣者の皆様、並びに三日講員、寺院関係者の皆様には、多々ご協力いただきました。この紙面を借りてあらためて御礼申し上げます。
まことにありがとうございました。